



もりおかさとこ
森岡聡子議員

コロナ禍による新しい生活様式の現状について問う

議員 インフルエンザ予防接種の取組等で、特に高齢者、子供、障がい者への配慮についてたずねる。

市長 県の施策により、インフルエンザ予防接種は生後6か月から小学校6年生まで無料である。市独自の支援策として、高齢者、中高生等にも拡大を検討している。

議員 介護保険事業計画に今後取り入れなければならない感染症や災害への対策について、本市の取組をたずねる。

市長 介護保険事業所等と連携し、災害発生時等に備えて避難訓練の実施や防災計画確認を促す支援、感染症に関して事前準備、感染症対策の研修の充実、事業所間の情報交換の場を作っていくたい。



地域再生課題について問う

議員 農業振興地域の見直しについて市の方向性をたずねる。

市長 市内の多くの地域を狭く形の整っていない農地が占めている。農業以外の産業振興や地域の活性化、福祉の充実など幅広く検討し、その土地を最大限に生かしていく必要がある。地域の変化を見極め、農業振興の見直しを検討する。

議員 農業委員会の役割と方向性、また、女性活躍の考えをたずねる。
市長 農地等の利用の最適化の推進を担う。現場での中心的な役割を担う農地利用最適化推進委員を3名増員した。

産業部長 女性農業委員の活躍する場を設けたい。



やまもと さとし
山本 聡議員

JR笠岡駅周辺整備の基本構想について問う

議員 駅周辺整備について、都市計画マスタープランでは駅周辺の市街地の再整備、商業業務機能や文化、交流機能等の集積を図るとあるが、KPIなど具体的指標はどう決められ、展開しているか。また、南口の整備について、ロードマップ等の進捗状況はどうか。

建設部長 公共交通を利用して市民の数を指標（KPI）としている。駅周辺整備基本構想に基づき駅周辺整備を着実に推進する。また、駅南口からのアクセス改善や南北と連携した交通結節機能の強化について、関係機関と協議や調整を進めている。バリアフリー等の推進や、ペDESTリアンデツキ等の設置で笠岡港への回遊性を向上し、周辺地域が賑わいの創出の場となる。



防災、減災の観点からBCP（事業継続計画）について問う

議員 市の業務継続計画（BCP）は南海トラフ地震を想定したものであるが、コロナ禍、大型台風への対応策は講じているか。

危機管理部長 最大規模の被害想定で対応策を考えているため、大きな台風の被害等への対応は可能である。感染症の疫病対策においての非常時の優先的業務は業務継続計画を準用し対応する。

議員 本庁舎等が使用不能の際、代替りの施設はあるか。また、本庁舎の建て替えの計画はあるか。

市長 代替庁舎は総合体育館、保健センターを考えている。本庁舎の建て替えについては、昨年度からプロジェクトチームの中で基本構想案策定を進めている。